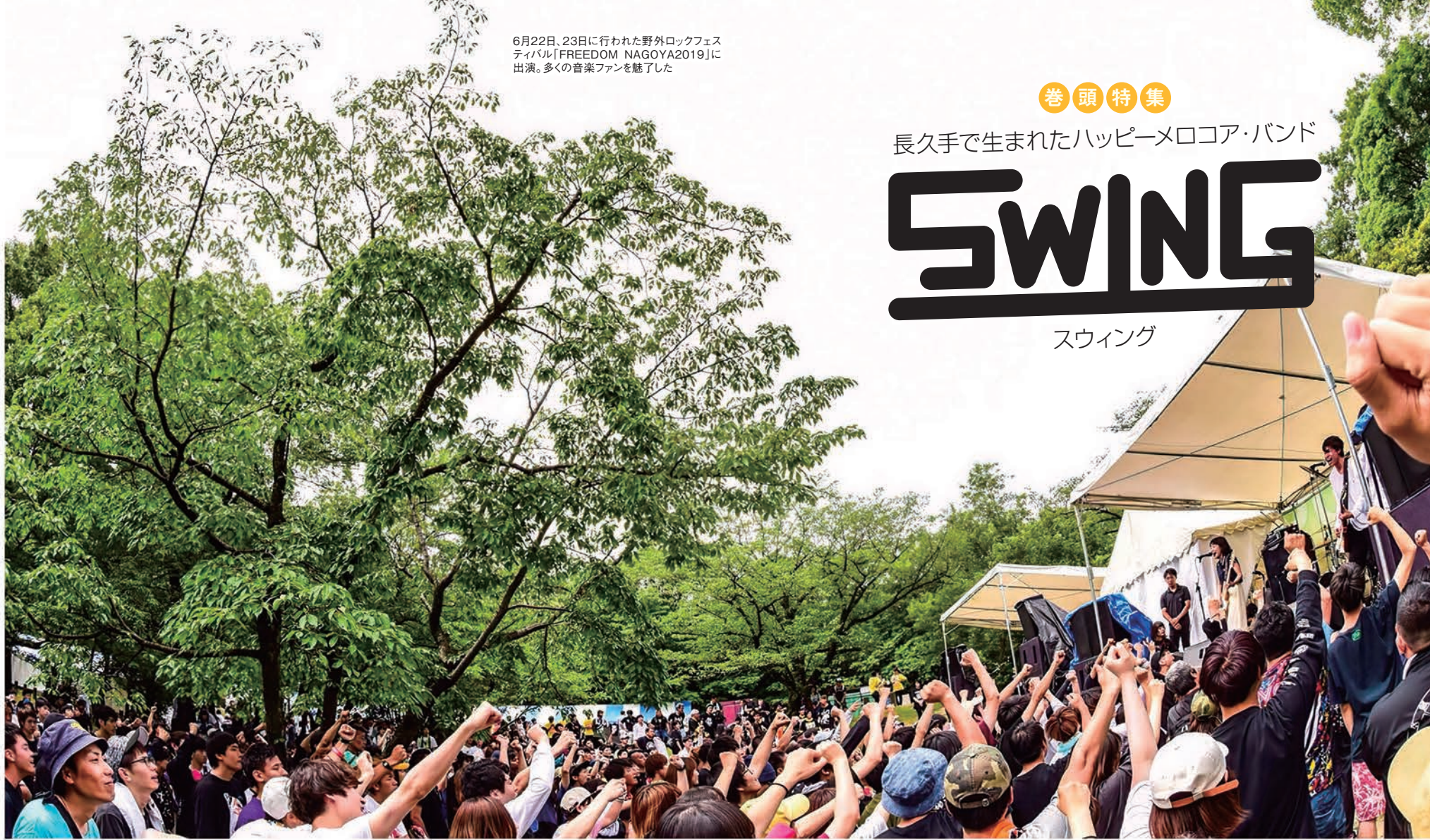


長久手で生まれたハッピーメロコア・バンド

SWING

スウィング

6月22日、23日に行われた野外ロックフェスティバル「FREEDOM NAGOYA2019」に出演。多くの音楽ファンを魅了した



愛知県立大学軽音楽部で出会ったメンバーによる現役大学生バンド「SWING」。日本語詞、英語詞を巧みに使い分けながら、男女混声ヴォーカルでポップな曲を歌いあげます。今夏にはミニアルバムの発売、全国ツアーを実現し、注目度を高めるご当地バンドの魅力に迫ります。

軽音楽部で惹かれあった男女3人がバンドを結成

2度目の全国ツアー初日となった8月19日。忙しいリハーサルの間を縫い取材に応じてくれたスウィング。8月に初のミニアルバム「SEARCH」を全国流通版として発売。8月19日を皮切りに、12月までのツアー「SEARCH FOR HAPPINESS TOUR」を精力的に開催しています。メンバーは全員が愛知県立大学の学生。出合いの場となった軽音楽部は部員120人と、音楽サークルとして県内最大級の規模を誇り、さまざまな価値観をもった音楽好きが集まります。

リーダーでありギター&ヴォーカルの鬼頭慶多さん、ベース&ヴォーカルの成瀬瑞穂さん、ドラム&コーラスの船田尚暉さんの3人組。メロコア（メロディック・ハードコア）と呼ばれる強いギターサウンドを前面に、メインヴォーカル成瀬さんの伸びやかな歌声が曲に乗ります。幼少期からピアノを習っていた成瀬さんは、常に見せる笑顔が印象的。ややハードなサウンド、日本語と英語が半々という歌詞を、にこにこ歌うギャップも話題です。「ハッピーメロコア」という造語を生み出し、ファンにも浸透しています。

学業との両立を大切に全国流通のアルバム発売

バンド誕生は2017年1月。高校生の頃から、女性ヴォーカルをメインに据えたバンド結成を夢見てい



「SEARCH FOR HAPPINESS TOUR」初日。真摯な表情でリハーサルに臨むスウィングの3人

た鬼頭さんが、入学後、軽音楽部で知り合った成瀬さんに声をかけスタートしました。途中、オリジナルメンバーのドラムが留学のため脱退。メンバーチェンジを経験しながら学業と両立し、音楽活動を続けてきました。バンドは部とは別の活動ですが、練習場所には部の防音室を活用。誕生も練習拠点も、オール長久手のバンドです。転機はドラムの船田さんが加入した2017年8月。パートが充実したことで、バンド活動に重点を置くようになり、ライブや曲作りにも、より力が入りました。「船田の加入を機に、ライブで手ごたえを感じる場面が増えたことはよく覚えていますが」と鬼頭さん。楽しそうに聴くファンの姿を見て、「もっと多くの人に届けたい」とミニアルバムの全国流通を決意したと話します。「自分たちが音楽を楽しみ、それを聴いてくれるファンと喜びを共有したい」。大学生バンドらしく、ファンの気持ちと自身の思いを大切に活動しています。

自分たちの歌で、みんなの背中を押せるようなそんな存在のバンドになりたい



リーダー
鬼頭慶多さん

愛知県立大学 情報学部 4年。長久手市生まれ、多治見市で育った。「ミニアルバム3曲目の『一生懸命頑張っているあなたが幸せになりますように』は自分にとって大切な曲です」



ベース&ヴォーカル
成瀬瑞穂さん

愛知県立大学 外国語学部 4年。ギターを練習していたが、バンド結成を機にベース担当に転向。「幸せがまった、笑顔になれる曲が歌っています。ぜひCDを手にとって、ライブに遊びに来てください」



ドラム&コーラス
船田尚暉さん

愛知県立大学 外国語学部 4年。ドラムを始めて約7年。「ミニアルバムは全曲、自信をもって『いい曲』と言える作品です。YouTubeでは何曲か無料で聴けるので、聴いてみてください」



昨年行われた、愛知県立大学の大学祭「県大祭」にも出演しました(左)。観客と一体になって盛り上がったツアー初日。12月にツアー最終日を迎える予定です(右)

information

SWING [スウィング]

ツアーなどバンド情報は下記まで

<http://swin-g.com>

大型CDショップの店頭でのみ購入可能。大きな夢を描く長久手発のバンド、早めにチェックしてください!



サウンドチェックを繰り返すリハーサル風景。試奏を重ねるごとに、時にはリラックスして笑みがこぼれることも



作詞・作曲を手掛ける鬼頭さん(右)。リーダーであり、バンドの方向性を決める存在

ミニアルバムの収録曲「一生懸命頑張っているあなたが幸せになりますように」は体験から生まれた一曲。塾講師のアルバイトをする鬼頭さんが、学生とのエピソードから、人に勇気を届ける前向きな応援ソングを作り出した。他に「Lemon」は、歌詞に深い意味をもたせず、響きを優先。リズムを重要視した、全編英語詞の力作。作詞を担当する鬼頭さんは「英語詞

だから言えること、歌える曲がある。これからも日本語、英語をバランス良く使い分けていきたい」と笑顔を見せます。いつか長久手での演奏を実現し自分たちの音楽を届けたい

順風満帆に見える活動ですが、所属事務所のないバンドがライブや全国流通のアルバムを発売するのは、簡単ではありません。大型CDショップなどとの交渉も、直接行いました。手作りしたCDを手に、流通を請け負う会社との話し合いも重ねました。

さらに、開催中の全国ツアーのライブ会場も、自分たちで手配。ライブで販売されるオリジナルTシャツは、自分たちで手作り。デザインはパソコンを駆使して、成瀬さんが即席デザイナーとなり手がけたもの。メンバーにとってパソコン作業はお手の物。企業と話し合いを重ねるなかで、社会と触れ合う経験も得ています。